

□令和 7 年 7 月 15 日 (火)

□午後 2 時 00 分から

□寢屋川市役所議会棟

4 階第 I II 会議室

令和 7 年度第 2 回

寢屋川市社会教育委員会議

議案書

寢屋川市教育委員会

案件第 1 号

- ・ 令和 7 年度所管事業について
社会教育推進課

案件第 2 号

- ・ その他

令和7年度

事業別概要一覧

「社会教育推進課」

	事業名	事業概要	意見・質問等	R7予算(円)	R7年度 特記事項	備考	回答	再質問
1	地域教育協議会活動推進事業	中学校区に設置している地域教育協議会において、子どもたちに豊かな体験活動を経験させる事業や地域住民が協働した取組を実施する。	—	6,161,000	—	—	—	—
2	学校安全体制整備推進事業	各小学校区で結成されている「子どもの安全見守り隊」が子どもの登下校時の見守りや地域パトロールカー巡視ボランティアとして巡回パトロールを行い、地域の安全啓発活動の推進を図る。また、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれそうになった時に、助けを求めることのできる家庭や民間企業等に「子ども110番」の旗を掲げてもらい、防犯意識の向上に努める。	①「子ども110番」の旗を掲げてもらう基準はあるのか。 ②見守り活動が防犯、子どもたちの安心・安全につながっています。	492,000	—	—	①「子ども110番」の旗の掲揚に基準は設けておりません。小学校ごとにとりまとめておりますので、校区内の小学校へご連絡いただき、配布させていただいているところです。	・「子ども100番の家」旗掲揚の協力先件数について、年単位などで増減の把握や、協力継続の意思確認などを行っているのか。 ■意思確認等は特に行っていませんが、件数の把握や、参加、辞退の手続きについては「子どもの安全見守り隊」が窓口となって対応しています。 旗の掲揚は犯罪抑止にも繋がるため、今後ともできれば協力先を増やしていきたいと思っています。
3	家庭教育サポートチーム派遣事業	教員でない「家庭教育サポーター」が学校と連携し、児童への声かけや家庭訪問などの相談活動を行い、保護者の子育てに対する不安や悩みの軽減を図る。	①各学校内に常時スペースなどを設置して、いつでも相談できるのか。 ②保護者にとって、日々、相談できる存在になっています。	26,054,000	—	—	①小学校を拠点として教職員と連携を取りながら、子育てやしつけに不安や悩みを抱える家庭に対して、家庭訪問等による相談活動や児童の登校支援を行っております。 授業中の校内見回りやケース会議への出席等も行っているため、常時設置しているスペースはございますが、いつでも相談していただけます。	—
4	家庭教育学級事業	ゴミセンや市内全23小学校等において交流、仲間づくり及び家庭教育の学習機会を提供するため、講演会等を実施する。	①ニーズに合わせた講師を調整していただいています。	933,000	—	—	—	—

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 7 予算 (円)	R 7 年度 特記事項	備考	回答	再質問
5	ねやがわ子どもフォーラム事業	学校・家庭・地域が一丸となった子育てや社会全体の支援のあり方を子どもに関わるすべての大人が学ぶとともに、子どもたちの健全やかな成長を願う機会として、学校・地域における家庭教育推進の取組み報告や有識者による講演会を開催	①集客に向けての広報方法を検討。	665,000	—	—	①チラシ配布や市SNS（フェイスブック、ツイッター）、メールねやがわ、広報ねやがわを用いた周知を行っているところですが、更なる集客のため、興味をもっていただけるようなテーマ設定や講師選び等を含め、周知方法の検討を図ってまいります。	—
6	青少年リーダーの養成 (ユースクラブ) (中高生クラブ) (小学生クラブ)	ユースクラブ、中高生クラブ、小学生クラブを開講し、青少年リーダーを体系的に養成することにより青少年リーダーの組織化を目指す。	—	2,039,000	—	—	—	—
7	青年祭	青少年が自分たちの特技やパフォーマンスによる交流を図り、新たな「人の輪・青少年のネットワーク」の形成につなげる。	—	1,345,000	—	—	—	—
8	青少年の居場所 (スマイル)	市内在住、在学、在職の青少年を対象に、年齢等の枠を越えて気軽に集える居場所を設置し、青少年の健全育成を推進する。	①市内内住所地によっては、スマイルに行くことがかなり困難な青少年も多いと思います。これについてどのような工夫を考えておられますか。施設の偏在性に対する考え方を整理しておかれることを望みます。 ②スマイル利用者の小中学生の人数や、地区別の利用者数など、現状を知りたいです。やはり地域的に近い校区居住の方が多いのでしょうか。 ③第二のスマイル設置に向けての継続検討。	12,927,000	—	—	①施設につきましては、ターミナル化計画の取組状況を踏まえ、内容を検討してまいりたいと考えております。 ②利用状況につきましては、スマイルは中学生から30歳までの青少年が利用できる施設で、令和5年度は年間延べ利用者約20,000人のうち約14,000人(約70%)が中学生であり、スマイルに近い中学校に通う生徒の利用が多い状況です。	・実際にスマイルを増設する予定はあるのか ■ターミナル化計画を進めるなか、スマイルを駅前1か所に集中させるべきか、各地域に増設するべきか、施設の性質を見きわめながら現在検討しているところです。 ・スマイルのように本来、各地域に置くことが望ましいとされている施設については、集約化することによって生まれるメリット、デメリットを精査し、より慎重に検討すべき。

	事業名	事業概要	意見・質問等	R7予算(円)	R7年度 特記事項	備考	回答	再質問
9	成人式	二十歳になった喜びを市全体で祝うとともに、二十歳としての自覚を促し、その責務を認識させる機会として、実行委員会を組織し、成人式を開催する。	①成人式が単なる「式典」ではなく、成人として社会の一員としての基礎的な情報をわかりやすく新成人に伝える企画を望みたい。ただあいさつを聴いているだけでは無意味とを感じる人も多いのでは。	3,467,000	—	—	①現状では、成人式実行委員会のメンバーが二十歳代表として、「誓いの言葉」を読み上げ、社会の一員としての意気込み等を参加者に伝えてもらっております。今回のご意見は成人式実行委員会にも伝えていきますが、具体的な企画案があれば、是非教えていただきたいです。	—
10	放課後子供教室推進事業	放課後・週末に、学習や文化・スポーツなどの様々な体験機会を提供することにより、全ての児童にとって安全・安心な居場所づくりを進める。	①様々な企画を子どもたちも楽しみにしており、今後も続けていただきたいです。	36,040,000	予算減額 △7,261,000円 ・放課後子ども総合プラン 運営委員報酬、保険料、委託料の減額のため	—	—	—
11	放課後校庭開放事業 (ねやがわスクールパーク)	原則として平日毎日(長期休業期間中も含む)、放課後に市立小学校の校庭を開放することで子どもたちの放課後の居場所の更なる充実を図る。	①新規事業として現時点における各校でのスクールパークの実施状況を知りたい。また、留守家庭児童会との棲み分けや調整の難しさについてはどうか。 ②長期休業中の入校管理者の熱中症対策等がどうなるのか気になります。	33,166,000	令和7年度から実施の新規事業	—	①ねやがわスクールパークの実施状況につきましては、5月の実施日数で最大は18日、最少は10日であり、原則平日毎日の実施としておりますが、学校行事の関係で差が生じております。また、一日の平均利用人数の最大は41人、最少は1人ですが、始まって間もない事業であり、十分に認知されていない可能性も考えられることから、引き続き、事業の周知を図って参ります。留守家庭児童会との棲み分けや調整の難しさとしては、持ち込み物や遊びのルールが異なるということが最大の要因であると考えております。 ②長期休業中の入校管理者の熱中症対策につきましては、熱中症警戒アラートが発表されましたら中止という運用ルールで進めて参ります。また、シルバー人材センターとしても実施時間が長いので時間を分けて従事者を配置していくとのことでした。	—

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 7 予算 (円)	R 7 年度 特記事項	備考	回答	再質問
12	青少年指導員会支援事務	寝屋川市内における青少年活動を積極的に促進し、青少年の健全育成を図るため、市内各中学校区に青少年指導員(10人以内)を市長が委嘱する。なお、各中学校区の情報交換等を円滑に行うために、寝屋川市青少年指導員会を設置している。	—	1,455,000	—	—	—	—
13	P T A 協議会支援事務	P T A に関しては、営利目的団体ではなく、学校園のみならず、地域における様々な活動を支え、地域教育力の向上に大きく寄与すると共に、子どもの安全を守る活動や市の様々な行事にも協力しており、社会的な重要性も高いとの判断の下、補助金を支出している。	①PTAで集めたお金を教員が着服する事案が他市であったが、このようなお金は学校や教員が管理すべきものでしょうか。こうした問題を踏まえると補助金の管理も同様に心配ですが。 ②年々、PTAに参加、加入する人が少なくなっているなかで、何か参加してもらう様に協議などはしているのか。	1,208,000	—	—	①PTAに関するお金の取り扱いは単位PTAごとに異なりますが、適切に管理していただいていると認識しております。 ②共働き世帯の増加やPTAへの加入が任意である等の要因により、PTA加入者数は全国的にも減少傾向にあります。子どもたちの学校生活がより良いものになるように、保護者のニーズに合った活動内容の検討等が必要と考えます。	—
14	青少年健全育成推進事業	青少年指導員会に、中学生の主張事業、青少年育成促進事業及び青少年育成市民啓発事業を委託し、青少年の健全育成を推進していく。	—	1,105,000	—	—	—	—

【事業別概要一覧】

社会教育推進課

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 7 予算 (円)	R 7 年度 特記事項	備考	回答	再質問
15	留守家庭児童会児童健全育成事業	保護者が就労等により昼間自宅にいない児童に適切な遊びや生活の場を提供することにより児童の健全な育成を図る。	—	32,244,000	予算増額 7,227,000円 ・保育料システム移行業務委託料、留守家庭児童会用品購入費、修繕料の増額のため	—	—	・現在の留守家庭児童会児童数、従事者の数の変化について ⇒市内の留守家庭児童会児童数は約2,300人～約2,400人（市内児童数の約25%） 従事者数は約170人、過去2～3年では変わっていません。 ・子どもの数が減っているのに従事者数は減らないのか ⇒児童数は減少傾向ですが、従事者数は留守家庭児童会の利用率によって決まるため変動はありません。 ・留守家庭児童会加入の入会に基準はあるのか。 ⇒両親が就労していること、午後3時の時点で親が自宅にいないことが条件です。

●その他・ご意見
特になし

【事業別概要一覧】

社会教育推進課

	事業名	事業概要	意見・質問等	R7予算(円)	R7年度 特記事項	備考	回答	再質問
1	社会教育委員会 議	市の社会教育における課題等の意見交流や、市民代表としての意見を聴取するために社会教育委員会議を開催している。	—	578,000	予算減額 △230,000円 ・委員報酬減額 ※委員数減少のため	—	—	—
2	生涯学習情報誌 発行	生涯学習の推進体制を整備するとともに、あらゆる年齢層に応じた様々な学習機会や多様な方法による学習情報の提供により、市民の学習活動の普及促進を図っている。	—	682,000	—	—	—	—
3	日本語よみかき 促進事業	日常生活において、日本語のよみかきを必要とする市民に対し、習得の機会を提供する。日本語入門テキストや教材を中心に、コーディネーターとスタッフによる指導を行う。週に1回、昼と夜に各2時間の授業で、年間88回開講している。	①受講者は増えているのでしょうか。近年の受講者数の動向が知りたいです。	2,398,000	—	—	①過去3年間の在住学習者数について、 【令和4年度】21人(10か国) 【令和5年度】37人(15か国) 【令和6年度】36人(12か国) 令和7年度の在住学習者については、 7月1日時点で31人(12か国)と、過去3年間に上回るペースで増加しています。	—

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 7 予算 (円)	R 7 年度 特記事項	備考	回答	再質問
4	まちのせんせい 活用事業	自己の得意な技術や知識を活かし、市域における生涯学習活動・学校活動等を支援するために、「まちのせんせい」の人材バンクに随時登録し、人的資源の活用、市民協働参画の推進を目指している。	—	192,000	予算増額 22,000円 ・講師謝礼増額 ※講師交通費の支払のため	—	—	—
5	エスポアール管 理事業	令和6年4月から指定管理者「特定非営利活動法人エスポアール」による管理運営の開始（1期目） 施設の効率的・効果的な管理運営を行う。	—	68,494,000	—	—	—	—
6	学び館管理事業	平成28年4月1日 開設 指定管理者「特定非営利活動法人 笑顔」による管理運営の開始（4期目） 世代間交流を推進するための効果的な自主事業を展開し、市民の自主学習・自主活動等に必要な場所を提供する。	—	29,441,000	—	—	—	—

	事業名	事業概要	意見・質問等	R7予算(円)	R7年度 特記事項	備考	回答	再質問
7	望が丘地域交流 スペース整備事 業	令和6年4月創立の望が 丘小学校・中学校内に地域 住民が交流できる空間を設 置し、魅力的な地域環境を 創出する。	①令和6年度の活用実績（使用人数、イベン ト等）のデータがあれば報告してほしい。	3,181,000	予算減額 3,588,000円 ・委託料減額 ※令和7年度 より安全監視 委託（シル バー）を終了し たため	—	① 令和6年度 来所者数：13,179人 令和6年度 イベント数：275回 （ランチ屋下がり講座 88回、子育て出 張講座 90回、絵本よみかせ 97回）	—
8	生涯学習（多機 能）施設整備事 業	市内全域からの利用が見 込まれる「生涯学習の中核 機能」と、あらゆる世代の 利便性と市民サービスの向 上、公共施設の利用効率を 最大化（集約・複合化）す る観点から、「中央高齢者 福祉センター」が有する中 核施設としての機能を融合 して整備することにより、 多様な機能を備えた、多世 代が利用・交流できる施設 を公共交通の結節点である 寝屋川市駅前（アドバンス ねやがわ1号館5階）に整 備する。	—	36,190,000	予算増額 36,190,000円 ・生涯学習 （多機能）施 設整備に向け た設計業務委 託に係る経費 の増額	—	—	—

●その他・ご意見

- ・望が丘ランチ出入口（北門）について、自転車、バイク、ベビーカーなど大変入りづらい。
- ・本庁1階、旧市民サービス部の自習室は期間限定なのか。 ➡子ども図書館ができるまでの期間限定で開設されていると聞いています。